

令和6年度使用小学校用教科用図書の選定理由書

教科用図書児湯採択地区協議会

| 種 目 | 発行者名 | 選 定 理 由 |
|-----|--------|---|
| 国 語 | 38 光 村 | <p>1 教科目標の達成及び単元(題材)の構成・配列等 単元の配列については、複数の領域を組み合わせる一つの単元を設けるなど、効果的に言葉の力を身に付けさせる工夫が見られる。また、各学年に読書活動「本は友達」、言語の特質や運用「言葉について考えよう」など特設単元を設け、学習したことの日常化を図る工夫が見られる。</p> <p>2 内容や指導の充実 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、単元末に設定した「学習」の中の「たいせつ」及び「いかそう」では、育成すべき力や手順、学びのポイント等が示され、児童が学習したことを他教科や日常生活へ活用できるような工夫が見られる。また、「読むこと」単元では、学習が一覧できるよう「見通しをもとう」から「ふりかえろう」までを見開きで示し、児童の思考を深めることにつながるような工夫が見られる。</p> <p>3 利便性の向上 学習効果や使用上の利便性については、巻頭にブックインブックの形式で、当該学年と前学年の学習内容が示されており、児童が学習の振り返りを進んで行えるような工夫が見られる。</p> <p>4 地域の思いや願いに対する配慮 必要な情報を読み取り、問題解決に活用できるようにするために、「じょうほう」を設け、情報の収集や整理、発信のための具体的な手段についてイラストや具体例を取り入れながら説明する工夫が見られる。</p> |

| 種 目 | 発行者名 | 選 定 理 由 |
|-----|--------|--|
| 書 写 | 38 光 村 | <p>1 教科目標の達成及び単元(題材)の構成・配列等 単元の配列については、単元の終末に言語活動「書写広げたい」や文字文化に触れる「もっと知りたい」「手書きの力」等を配置し、国語や他教科等に活用できるような工夫が見られる。</p> <p>2 内容や指導の充実 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、導入で、整った文字を書くためのポイントを個人で考えたり、グループで話し合ったりする活動を取り入れた後に学習を進めることができるような工夫が見られる。</p> <p>3 利便性の向上 児童にとっての分かりやすさについては、色覚の多様性に配慮した色の組み合わせの工夫が見られる。低学年では、点画の書き方の特徴を動物の動きと擬態語や写真を使って表現する工夫が見られる。</p> <p>4 地域の思いや願いに対する配慮 問題解決に向けた資質・能力を高めるために、「学習の進め方」で学年の発達段階に応じた学習の流れを示す工夫が見られる。</p> |

| 種 目 | 発行者名 | 選 定 理 由 |
|-----|-------|--|
| 社 会 | 2 東 書 | <p>1 教科目標の達成及び単元(題材)の構成・配列等 構成・配列については、毎時間の学習問題や「まなびのポイント」、アニメのキャラクターの吹き出しを具体的に示すなどして、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という段階を踏みながら、課題意識をもって学習できるような工夫が見られる。 また、各学年の最初に「学習の進め方」のページを設け、学びの振り返りを大切にしながら問題解決的な学習に必要な知識・技能の習得ができるような工夫が見られる。</p> <p>2 内容や指導の充実 内容・指導の充実については、「まとめる」場面において多様な表現活動を提示したり、「いかす」場面において、児童が自分のできることを考え、選択・判断する活動を設けたりすることで、「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。 また、単元の末尾に「ひろげる」コーナーを設け、児童が発展的な学習をさらに追究していく活動を提示することで、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるような工夫が見られる。</p> <p>3 利便性の向上 使用上の利便性については、「まとめる」段階で学習問題を再提示して学習内容を振り返りやすくしたり、「二次元コード」を活用して学習を深めたりすることができるような工夫が見られる。 また、用途に応じた大小の写真や図が多く掲載されており、児童が見やすく読みやすい配慮がなされている。</p> <p>4 地域の思いや願いに対する配慮 地域の思いや願いに対する配慮については、「ことば」「見方・考え方」等のコーナーを配置し、実生活に生かす学習を設定するなど、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断するための工夫が見られる。 また、「まなびのポイント」のコーナーを配置し、学習内容を生かして説明したり、話し合ったりする場面を設けるなど、積極的に表現する資質・能力を高めるための工夫が見られる。</p> |

| 種 目 | 発行者名 | 選 定 理 由 |
|-----|--------|---|
| 地 図 | 46 帝 国 | <p>1 教科目標の達成及び単元(題材)の構成・配列等 構成・配列については、写真やイラストを多く活用しながら、地図学習の基礎の定着を図ることができるような工夫が見られる。 また、資料図では、細かな資料を厳選して見やすく配置することで、複数の資料を関連付けて、社会的な見方・考え方を働かせられるような工夫が見られる。</p> <p>2 内容や指導の充実 内容・指導の工夫については、「トライ！」や「地図マスターへの道」による学習への手がかりの提示や、テーマごとに切替えてできる地図をまとめた二次元コード等により、地図活用の意欲を喚起したり、児童の思考を促したりして、主体的・対話的で深い学びを展開できるような工夫が見られる。 また、他教科等でも活用できるよう、世界のあいさつの音声コンテンツ、楽曲やお話の舞台を地図上に示すなど、生きて働く知識・技能を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>3 利便性の向上 使用上の利便性については、児童の興味・関心を引きつけるようなイラストを配置するなど、児童にとって見やすく分かりやすい工夫が見られる。 また、「日本の産業」において、グラフや図を精選し、地図を大きく掲載することで、児童が生産量の変化に気付き、理解を深めるような工夫が見られる。</p> <p>4 地域の思いや願いに対する配慮 地域の思いや願いに対する配慮については、地図の見方を示唆し活用を促すキャラクターの配置により児童自らが地図に着目したり地図から考えたりできるようにするなど、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断するための工夫が見られる。 また、地図に対する興味・関心を引き付け、地図活用技能や知識が身に付くような問いのコーナー「地図マスターへの道」を随所に配置し、主体的に地図に関わりながら児童が楽しく学習活動に参加できるようにするなど、積極的に表現する資質・能力を高めるための工夫が見られる。</p> |

| 種 目 | 発行者名 | 選 定 理 由 |
|-----|--------|---|
| 算 数 | 61 啓林館 | <p>1 教科目標の達成及び単元(題材)の構成・配列等 算数科の目標を達成するために、習熟度に応じた「もっと練習」や単元末の「学びのまとめ」等で学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。 また、児童が苦手としやすい単元を分割して配置し、年間を通して定着が図られるようにするなど、スパイラルを意識した構成・配列の工夫がされている。</p> <p>2 内容や指導の充実 数学的な見方・考え方を働かせるために、めあてにつながる問いや気づきを掲載して主体性をもたせ、その後の学び合いで深めたいポイントを見える化するなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫がされている。</p> <p>3 利便性の向上 児童にとって分かりやすくするために、1単位時間の学習内容をページ末で区切り、「めあて」と「まとめ」を明記するとともに、「数学的な考え方」を明確化して掲載することで、児童が主体的に学習に取り組み、対話的な学びが充実するように配慮されている。</p> <p>4 地域の思いや願いに対する配慮 問題解決に向け、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断し、積極的に表現する資質能力を高めるために、分かったことを表現したり、よりよい方法を考えたりする活動を例示したり、思考力・判断力・表現力等を日常の生活に活用し一層伸ばすことができるように、単元末に「学びをいかそう」のコーナーを適宜設定したりするなどの工夫が見られる。</p> |

| 種 目 | 発行者名 | 選 定 理 由 |
|-----|--------|--|
| 理 科 | 61 啓林館 | <p>1 教科目標の達成及び単元(題材)の構成・配列等 すべての単元の導入で「思い出そう」を設定し、日常生活や既習内容を振り返ることができるように工夫されている。また、問題解決の各段階を視覚的に分かるように示し、1本のラインでつなぎ、本文と分けて配置することで、児童が学習に見通しをもって取り組めるような工夫が見られる。</p> <p>2 内容や指導の充実 「理科を楽しむ見方・考え方」では、見方・考え方を端的に例示したり、巻末では、見方・考え方が日常生活でも役立つ場面を紹介したりすることで、理科の見方・考え方を働かせながら、主体的・対話的で深い学びができるような工夫が見られる。 単元導入でパフォーマンス課題を設定し、児童自身が課題意識をもって学習に取り組み、単元の学習後に導入と同じ課題を考えさせる場面が設定されており、「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>3 利便性の向上 理科の学習をベースに、技術やものづくり、アート、数学的な発想を組み合わせた題材を配置し、実社会での問題発見、解決に生かすSTEAM教育を紹介し、教科横断的な視点が養われるような工夫が見られる。</p> <p>4 地域の思いや願いに対する配慮 デジタルコンテンツを多数用意したり、「やってみよう！プログラミング」にて、プログラミング的思考を育成できるようにしたりして、一人一台端末の効果的な活用ができる工夫が見られる。 「with the Earth」として防災の内容を設定し、日常生活や社会との関連を深めるとともに、予想を確かめる段階では、話し合いでICT機器を活用しながら計画を立てさせる工夫が見られる。</p> |

| 種 目 | 発行者名 | 選 定 理 由 |
|-----|-------|--|
| 生 活 | 2 東 書 | <p>1 教科目標の達成及び単元(題材)の構成・配列等 季節を取り扱う単元は、「夏」「秋」「冬」「春」で構成され、「春」においては、自然だけでなく季節による人々の生活の様子や暮らしの変化に目を向けさせ、自分自身や自分の生活について考えられるような配列の工夫が見られる。</p> <p>2 内容や指導の充実 紙面下段の「学びをふかめる」コーナー、学習活動や思考の流れを示した「学びのプロセス」の例示など、児童の気づきの質を高める工夫が見られる。</p> <p>3 利便性の向上 実物大植物を掲載した「いきものずかん」など、具体的な例示や資料を随所に設け、児童の学びを深めたり、利便性を高めたりする工夫が見られる。</p> <p>4 地域の思いや願いに対する配慮 スタートカリキュラムのページが特設されていることや、巻末に「かつどうべんりてちょう」として学び方が掲載されていることで幼児期から中学年へ学びをつなぐ工夫が見られる。</p> |

| 種 目 | 発 行 者 名 | 選 定 理 由 |
|-----|---------|---|
| 音 楽 | 17 教 出 | <p>1 教科目標の達成及び単元(題材)の構成・配列等 各学校の特色や児童の実態に応じて音楽を楽しんだり親しんだりできるように、主要部分の教材と選択可能なオプション部分を組み合わせることができるよう配慮されている。</p> <p>また、「音楽的な見方・考え方」を働かせながら資質・能力を育むことができるように題材が構成されている。題材によっては、表現教材と鑑賞教材を関連させて学習するものや、学びの中で身に付けた内容を次の題材で生かすことができるように設定されており、学習がより深まるように工夫されている。</p> <p>2 内容や指導の充実 音楽的な「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、「思考力・判断力・表現力等」の育成を意識した発問例が「まなびナビ」に示されたり、グループ活動時の会話を想定した吹き出しが例示されたりしている。また、児童がワークシート等の資料を二次元コードで読み取る「まなびリンク」が示されるなど、児童が思いや意図を生かして表現したり、音楽の魅力を感じ取ったりできるような工夫が見られる。</p> <p>3 利便性の向上 楽譜については、絵や図での楽譜から五線譜に移行したり、旋律の動きを捉えるためのアニメーション動画が視聴できたり、発達の段階に応じて分かりやすく学べるように工夫されている。初めて階名や音符等を学ぶ第3学年では、「楽ふのお話」として1ページに音符と休符、五線、小節についてまとめてあり、それ以降の学習でもこのページで振り返ることができるように工夫されている。</p> <p>音程を分かりやすく学ぶために、第1学年では音の高さに合わせて体を動かす活動が設定されており、児童が感覚的に音の高さを理解できるような工夫が見られる。</p> <p>4 地域の思いや願いに対する配慮 必要な情報を的確に読み取るために、「見る」「書く」「知る」の二次元コードが付いており、楽器の奏法や鑑賞・楽器紹介について、学びを活性化し、確かなものにする工夫が見られる。また、リコーダーや鍵盤ハーモニカの奏法が、ページを分けて段階的に掲載されており、確実に習得できる工夫が見られる。</p> <p>積極的に表現する資質・能力を高めるために、2年生以上の巻末に「音楽をあらわすいろいろな言葉」がまとめてあり、自分の思いを表現するための工夫が見られる。また、巻末に掲載されている音楽ランドの曲数が多く、発展的な学習に繋がる工夫が見られる。</p> |

| 種 目 | 発行者名 | 選 定 理 由 |
|------|--------|--|
| 図画工作 | 116日 文 | <p>1 教科目標の達成及び単元(題材)の構成・配列等 発達の段階をもとに題材が配列されているのに加え、教科横断的な視点で学習を進めたり、一つの題材の中で表現と鑑賞の活動を共に関連させながら活動したりできる工夫も見られる。また、学習指導要領における〔共通事項〕を意識しながら、身近なものから諸外国の美術作品まで、多様な形や色に出会うことができる題材が配列されている。</p> <p>2 内容や指導の充実 場所や材料から感じたり、発想したりしたことを進んで表現できるよう児童同士で思ったことや試したことが示されているとともに、児童の参考作品が多く掲載されている。また、表現や鑑賞の活動を通して、友だちと話し合ったり協働したりする様子が紹介され「主体的・対話的で深い学び」を展開するための工夫が見られる。</p> <p>3 利便性の向上 学習のめあてがピクトグラムで示されている。題材の示し方は「めあてのヒント」と「鑑賞のヒント」を児童の思考に沿って示すとともに、写真とも関連付けている。QRコードでは、用具の使い方、作品の作り方を確認でき、紙面でも図や写真を示し、児童が多様な手段で活動に取り組みやすい工夫が見られる。</p> <p>4 地域の思いや願いに対する配慮 問題解決に向け、児童自身がどのように表現すればよいのかを考えさせるため「ためす 見つける」のような項目が設定されている。そこでは身近な材料から発想しやすくなる資料が挿入され、学習や表現への意欲を高める工夫につながっている。また、「友だちと作品を見て話そう」のように、自分だけではなく、たくさんの児童の活動の様子や作品を鑑賞し意見交流をするなど、他者と比較する活動が取り入れられ、見方・感じ方やコミュニケーションにつながる工夫、新たな発見や発想へとつなげる工夫が見られる。</p> |

| 種 目 | 発行者名 | 選 定 理 由 |
|-----|-------|--|
| 家 庭 | 9 開隆堂 | <p>1 教科目標の達成及び単元(題材)の構成・配列等 家庭科の目標を達成するために、基礎的・基本的な内容から応用・発展的な内容へと、2年間を通して系統的に学ぶように構成されている。また、題材が細かく区切られていることで組み換えがしやすく、地域や学校の実態に応じた指導ができる配列となっている。さらに、6学年の終わりには、2年間の学習を振り返り、中学校での学習へつながるような工夫が見られる。</p> <p>2 内容や指導の充実 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるための工夫については、各題材の最初に「生活の見方・考え方」をクローバーで表し、生活の営みに係る見方・考え方の視点を意識して学習が進められるようになっている。また、日常生活に必要な知識や技能を「実習で役立つワンポイント」で示し、確認したり、振り返ったりしながら学べるようになっている。さらに、生活をよりよくしようとする実践的な態度を養うために、課題解決のステップや取組の例を示した「生活の課題と実践」が設定され、学びを人生や社会に生かせるような工夫が見られる。</p> <p>3 利便性の向上 多様に配慮したキャラクターが学習のヒントを具体的に示しており、児童の学習意欲を高めるように工夫されている。また、安全・衛生や防災に関する特設ページや、安全・環境・防災のマークとチェック欄の設定により、児童が安全や環境、防災について意識して学習できるようになっている。大きさの感覚をつかみやすい実物大資料や野菜の切り方・ものさしを表示した裏表紙、豊富な動画コンテンツ等によって、効果的に学習を進めることができるように工夫されている。「キャリアインタビュー」やSDGsの観点で5学年の学習内容を振り返るページを設けることで、消費者として環境や資源について考えられるように工夫されている。</p> <p>4 地域の思いや願いに対する配慮 問題解決に向け、主体的に学ぶために、「①気づく・見つける ②わかる・できる ③生かす・深める」という3つのステップが示され、「主体的・対話的で深い学び」に寄り添ったページ構成の工夫が見られる。また、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断し、積極的に表現するために、さまざまな「記入シート」の画像が収録されている。動画コンテンツと組み合わせたアクティブな授業を展開することで、個別最適な学びと協働的な学びに向けた工夫が見られる。</p> |

| 種 目 | 発行者名 | 選 定 理 由 |
|-----|-------|--|
| 保 健 | 2 東 書 | <p>1 教科目標の達成及び単元(題材)の構成・配列等 学習指導要領に即した系統的かつ問題解決的な単元の配列及び構成となっており、「調べる・解決する」「深める・伝える」の活動や動画等の掲載により、児童の身近な生活と関連付け、主体的・対話的で深い学びを通して、生涯にわたり心身の健康の保持増進に必要な資質・能力を育成する工夫がなされている。</p> <p>2 内容や指導の充実 「知識」や「技能」を習得するため、一単位時間に振り返りを設けたり、不安や悩みへの対処やけがの手当の仕方をイラストや動画等で確認したりするなど、学習の定着や実践化を促している。また、課題を見付け、自分の考えを整理するための視点に沿って記述し、説明する場面を位置付けるなど、「思考力・判断力・表現力等」を育成するような工夫が見られる。</p> <p>3 利便性の向上 ステップごとの4ページ構成のためイラストや写真等を大きく掲載したり、記述欄を設けたりすることで、課題を自ら見付け、主体的に学び、思考することができるような作りになっている。</p> <p>4 地域の思いや願いに対する配慮 必要な情報を読み取る力や活用して考えをまとめたり、深めたりする力を育成するために、命や健康を守るために必要なスキルを扱っている資料には「スキルマーク」を付けるなど、情報活用能力を高めるような工夫が見られる。 さらに、1単位時間の学習において、習得した知識・技能を活用して取り組む学習活動として「深める・伝える」を設定し、それまでに学習したことを基に考え、筋道を立てて説明する活動を通して、表現力を高めるような工夫が見られる。</p> |

| 種 目 | 発行者名 | 選 定 理 由 |
|-----|-------|---|
| 外国語 | 9 開隆堂 | <p>1 教科目標の達成及び単元(題材)の構成・配列等 単元の配列については、複数の「Lesson」の間に「Let's Check」を設定し、自分の成長や課題を振り返りながら取り組むことで、教科の目標を達成できるような工夫が見られる。</p> <p>2 内容や指導の充実 英語を使いながら学ぶ外国語学習を展開するために、各単元において、伝え合う目的や場面、状況などに応じ、「Let's Try」「Activity」など、ペアやグループで共に学び合い伝え合う活動を設定することで、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>3 利便性の向上 見やすさと読みやすさに配慮されたユニバーサルデザイン書体が用いられており、独自に開発したフォントを使用したり、1行あたりの文字数を30字以内にしたりするなど、児童にとって分かりやすくなるような工夫が見られる。また、デジタル教材においては、語句や表現の音声やリズムを確かめるために、児童が「Song Box」や「Chant Box」を活用することで、学習効果を高める工夫が見られる。</p> <p>4 地域の思いや願いに対する配慮 単元を通して、表現に慣れ親しむための「Let's Play」や「Let's Listen」などの活動が充実しており、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断する工夫が見られる。また、問題解決に向けて、場面に応じて繰り返し自分のことを伝え合う「Activity」が充実しており、積極的にコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を高めようとする工夫が見られる。</p> |

| 種 目 | 発行者名 | 選 定 理 由 |
|-----|--------|---|
| 道 徳 | 116日 文 | <p>1 教科目標の達成及び単元(題材)の構成・配列等 道徳科の目標を達成するために、例えば、高学年で「友情、信頼」「国際理解、国際親善」等の補助教材(ふろく)を設けるなど、児童の実態を考慮した指導の充実につながるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>2 内容や指導の充実 内容や指導の充実については、巻頭に「道徳の学び方」を設け、学び方の基本を理解させたり、教材全体への見通しをもたせ、問題意識を高めさせたりすることで、主体的に自分との関わりで考えさせることができるような工夫が見られる。また、別冊「道徳ノート」や教材と関連した内容を取り上げた「心のベンチ」を設定するなど、自分の考えを広げさせたり、多様な価値観に触れさせたりすることで、多面的・多角的に考えさせることができるような工夫が見られる。</p> <p>3 利便性の向上 利便性の工夫については、教材の文頭に主な登場人物の紹介や内容に沿ったリード文を設けることで、児童の教材内容についての理解を助け、内容をイメージしながら考えたり話し合ったりすることができるような工夫が見られる。</p> <p>4 地域の思いや願いに対する配慮 必要な情報を読み取り、考えを深め、判断することができるように、授業の流れに沿った「3つの発問例」を全教材に提示することで、学びの焦点化が図られ、じっくりと学習活動に取り組ませることができるような工夫が見られる。また、積極的に表現できる資質・能力を高めるために、「ぐっと深める」を設け、問題解決的な学習や体験的な学習などの効果的な展開の様子を示すことで、主体的・対話的な学びを実現させることができるような工夫が見られる。</p> |